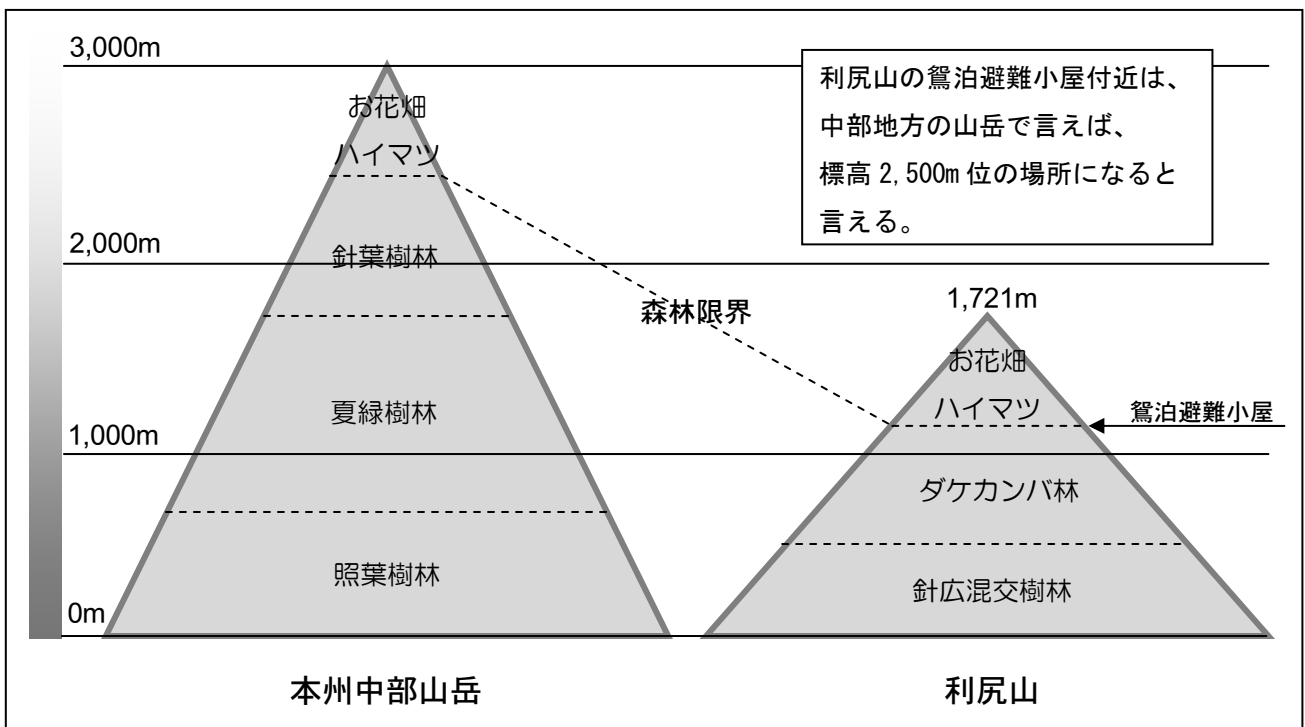







■ 利尻山の自然環境の特徴

1. 北緯45度、国内で最も高緯度にある百名山
 - 森林限界が低く、登山道沿いに風雨をしのげる休憩場所が少ない。
 - 夏は日中時間が長く、冬は短い。
2. 海上の独立峰
 - 方位によって天候が異なることもある。
 - 山頂付近は風が強い。
 - 海上に浮かび立つ独特のシルエットは、利尻山の大きな魅力になっている。
3. 短い夏
 - 一般的な夏山シーズンは、6月中旬～9月中旬。
 - 最も気温が高い7月の山頂平均気温が約13℃であり、利尻島平野部に比べて6～7℃低い
4. 火山性の非常に脆い地質
 - 登山利用の影響で侵食されやすい。
 - 侵食で流失した火山礫が、登山道脇の植生を覆っている箇所も見られる。
5. 利尻山固有の植物・昆虫
 - リシリヒナゲシやボタンキンバイ、リシリハタザオなど国内では利尻山でしか見られない植物や、リシリリンドウやリシリブシなど利尻の名を冠した植物が生育している。また、それらの花々が織り成す山頂付近のお花畑も登山の楽しみの一つになっている。
 - 利尻固有種の昆虫、リシリノマックレイセアカオサムシが生息

図. 本州中部山岳と利尻山の植生分布の比較



(参考) 平成20年度登山道整備箇所 定点写真

施工前	7月27日
	
施工直後 (7月10日)	8月1日
	
10日後 (7月20日)	8月9日 (ひと月後)
	

8月18日



9月26日



8月26日



10月23日

